



## 野球大会でエアグリーブが優勝

10月24日、第47回直方市民総合体育大会「一般軟式野球大会」決勝戦が中泉市民球場で行われ、「エアグリーブ」が「福岡スタークラブ」に勝ち、優勝しました。

秋山投手と高野捕手との息の合ったピッチングで、相手打線を完封。打線では、山田、白石の長打に相手エラーが絡み、2点を奪い快勝しました。エアグリーブの岡本監督は「来年は、2連覇を目指します」と力強く語りました。



## コロナワクチン 職域接種で感謝状

ワクチン接種が思うように進まない中、中泉工業団地協議会には、いち早く職域接種に向けた準備を進め、団地内の従業員や市内消防団員、商工会議所会員事業所等へのワクチンの職域接種にご尽力いただきました。



産業振興の持続に大きく寄与していただいたことへの感謝と敬意を表し、感謝状が贈呈されました。

## プラスチックごみ削減へ ウォータースタンド(株)と連携協定

12月3日、直方市とウォータースタンド株式会社が「SDGs達成に向けたプラスチックごみ削減推進」に関する連携協定を市庁舎で締結しました。地球温暖化問題やプラスチックごみ問題に関する市民の意識拡大や4Rの推進に向け、市内14カ所に同社の給水スタンドを無償で設置し、マイボトル持参の取り組みを推奨するものです。市庁舎などの公共施設のほか、市内全小学校にも順次設置予定で、児童の環境意識の醸成や熱中症対策にも効果が期待されます。

同社の本多代表は「市や企業等と協定を結び、市民を巻き込みながら水筒を持ち歩く文化を作りたい。今日をきっかけとして一緒に取り組んでいきたい」と語りました。



## 南小4年生が 初の施設見学 クリーンHitzのおがた



11月24日、直方南小学校4年生が、社会科学習で汚泥再生処理センター(クリーンHitzのおがた)の見学を行いました。

本施設は市内の家庭や事業所から出るし尿や浄化槽汚泥を処理し、きれいな水に再生し川へ放流しています。また処理の過程で発生する汚泥は助燃剤として生まれ変わります。実際に助燃剤を触ってみた児童からは「ふわふわしてる」と声上がり、工程ごとの処理水を見て、汚水のリサイクルについて学びました。DVDで処理の過程を学んだ後は、地球温暖化やごみ問題についての環境クイズにも挑戦しました。

学習を通して、むらやままさと村山将斗さんは、「トイレの後の処理について、今まで考えたことがなかったけど、わかって良かった」と話しました。



市のホームページでは、この他の話題も公開しています。

## 11月21日(日)

### ゲストと一緒に直方北九州自転車道をサイクリング♪ 走行イベント

ゲストには東京パラリンピック2020自転車競技 金メダリストの杉浦佳子選手、サイクルロードレースチームVC福岡所属選手、ユーチューバーのtom's cycling YOPIさんと豪華なゲストをお呼びし、約300名のサイクリスト達が壮大なリバービューを楽しみながら直方北九州自転車道を走行しました。



### 子どもたちの熱き戦い! キッズレース



未就学児から小学6年生までを対象に、4レース合計112名で行われました。コースは市役所前河川敷に約1km(未就学児部門は500m)の特設コースを設置。最後まであきらめずに走る子どもたちの姿はとても感動的でした。



### そのほか盛りだくさん! その場で楽しめるコンテンツ



直方市のサイクリング情報や九大生が制作したオンラインマップが掲載された「のがたサイクリング」ホームページをぜひご覧ください。



ステージイベントや直方市特産品の物販、ワンウィール(一輪型電動スケートボード)やホンバイク(チェーンレス電動自転車)の体験ブースなど、その場で楽しめるコンテンツが盛りだくさんでした。

## 九州大学まちづくりプロジェクト



イベント当日には、九州大学の学生(プロジェクトまちづくり後期D班)がともにイベントを盛り上げてくれました。市の絶景スポット・休憩場所を記したロードマップやサイクリストへのインタビュー記事を掲載したリーフレットを制作し、当日参加したサイクリストへ配布。その他にも走行イベント参加者の検温や整理・誘導、キッズレース参加者の招集やゴール管理等を行いました。前期では、市内のサイクリスト受入推進企業を訪問取材し、実際のコースを試走して位置情報を確認しながらサイクリスト目線で情報を収集、のがたサイクリングホームページに掲載するオンラインマップを作成しました。